

インタビュー 八重山×人 278

聞き手・撮影 島尻修

石垣島トリアスロン大会2023(4月9日開催)のランのコース沿道で、今年もバンド演奏でランナーに声援を送った「NTTOBバンド」。結成47年になる息の長いバンドだ。メンバーに話を伺った。

「バンド結成時、メンバーについて、活動の変遷を教えてください。」

「日本電信電話公社」時代の1977年の年末、組合主催のダンスパーティーに向けて、同僚でバンドを編成したのが始まりです。加屋本弘さん、前島邦憲さん、大島克博さんの3人は結成当時からで、1、2年後に平地正三さんと大田次男さん、84年に、P A(ミキサー担当)の西表英樹さんが加わりました。活動は同僚の結婚式での余興をはじめ、石垣市の海びらき、八重山まつりの「のど自慢大会」、愛知県犬山市商工会との交流式典、与那国島祖納の開港式典、西表大原まつり、各種団体のイベント、地域の祭りなどにもよく呼ばれました。その頃、市内では公に活動するバンドは見当たらず、トランペットと

サククスがある編成も希少で重宝されていました。(大島克博・加屋本弘・大田次男・平地正三さん他)

トリアスロンでの演奏はいつからですか。

1996年にITUワールドカップ石垣島大会が開催され、NTT西日本が協賛企業となり、その3、4年後から始めました。85年に会社が民営化された後は、メンバーがばらばらになり、以前のような活動ができなくなり、1年に1度のトリアスロンでの演奏がメインです。(西表英樹・大田次男さん他)

レパートリーは何曲ですか、バンドの特徴は?

500曲あります。カラオケが普及していなかった80年代前半頃まで、八重山まつりの「のど自慢大

会」ではバックバンドを務め、ジャンルの幅が広がりました。懐メロ、洋楽、クラシック、ジャズ、歌謡曲、民謡までと「ジャンルは問わない何でもあり」がバンドの特徴だと思います。(平地正三・大島克博・大田次男さん他)

「各自の音楽との関わりを聞かせてください。」

加屋本弘さん・高校の時にバイトで貯めたお金でギターを買い音楽が趣味になった。ベンチャーズブームの頃で、誘われてバンド活動を始めた。大島克博さん・中学生の頃、学校にあった壊れた軍のトランペットを自分で直してトランペットを吹き始め、それからずっとペットを吹いている。平地正三さん・22歳の頃、文化会館が開催していたクラシックのギター教室で1年間、学んだのが楽器との本格的な出会い。大田次男さん・歌うことや音楽を聴くことが好きで20代で入社した後、別のメンバーとバンドを組んでいたこともある。西表英樹さん・若い頃からジャズが好きで、沖縄本島での勤務時代は県内のジャズの店ほとんど回ったほど、若い頃からジャズが好きで聴いていました。

「長く続けられる秘訣は何ですか。」

メンバーの価値観が似ているし、「ヤーにんじゅー(家族)」的な関係で、何より音楽や演奏することが好きだから続いていると思う。積み上げて来た実績を考えると、今さら止められないという気持ちもある。体が続く限り、これまでと変わらないペースで継続していきます。(メンバーら)



前列左から加屋本弘さん、大島克博さん、西表英樹さん。後列左から明石信宏さん、平地雅彦さん、大田次男さん、平地正三さん(2023年4月9日)

NTTOBバンド

- 大島克博 トランペット。76歳。バンド部長
八重山古典音楽保存会師範。石垣市
- 加屋本弘 テナーサククス。73歳。石垣市
- 平地正三 ベース。71歳。石垣市
- 大田次男 ドラム。64歳。石垣市
- 明石信宏 ギター。58歳。那覇市
- 平地雅彦 PA。64歳。那覇市
- 西表英樹 PA。72歳。石垣市
- 前島邦憲 ギター、アレンジャー。70歳。那覇市
(今大会は不参加)



NTT西日本沖縄支店のエイドステーション沿道で演奏をするNTTOBバンド(同)